

<学校教育目標>

・考え深い子ども ・きまり正しい子ども ・元気でじょうぶな子ども ・心の美しい子ども

～学び合い 認め合い 高め合う子どもの育成～



児童一人一人、教職員一人一人の力が発揮され、成長し続ける学校

一人一人のよさを生かす 誰一人とり残さない 目標に向かって努力を続けるプロセスを大切にする

【学びの充実】

- ・OJT バディ研修による授業力の向上
- ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の実践
- ・校内研究 「学ぶ分野」の得意を見付ける…アブラカタブラゴールの充実
「学び方」の得意を見付ける…カリキュラム開発(教科等)

【生活の充実】

- ・「時を守り、場を清め、礼を正す」教職員が範を示し、指導する
- ・学習規律、生活規律の定着 / ほめて、認めて、価値付ける
- ・午後の「関わりを深める時間」(さくらタイム・なの花タイム・のびのびタイム)の充実

わかたけ学級との交流及び共同学習の推進

- ・休み時間や児童集会等の日常的な交流
- ・年間計画に基づいた各学年との交流及び共同学習

開校100周年の取組

- ・リーダー会を中心とした児童主体の取組の推進
- ・保護者や地域と共に祝う行事の実現

誰一人とり残さない

～すべての児童をすべての教職員で見守り育てる～

【特別支援教育の推進】

- ・児童の特性に配慮した指導・支援
- ・なのはな教室の巡回教員やSCとの日常的な連携
- ・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会の充実

【心身共に元気に働くことができる職場づくり】

- ・互いに気遣い、助け合い、協力し合える関係→チーム油面
- ・放課後を主体的に活用できる時間の確保→時間と心のゆとり

【学年を単位とした指導・支援体制】

- ・副担任制(2～6年生)
- ・エデュケーションアシスタント(1年生)
- ・教科担任制(5・6年生)
- ・一部教科担任制・交換授業(3・4年生)

【学校への行きづらさを感じている児童への対応】

- ・別室登校支援(自宅と教室との架け橋に)
- ・保護者や他機関との連携

- ・複数の目による多面的・多角的な児童理解
- ・いつでも誰にでも相談しやすい環境づくり
- ・いじめ等の早期発見・早期対応